

昭和十一年度業務功程報告

漁撈部

鯉漁業試験

(イ)

趣旨 鯉漁場ノ開拓ヲ計リ本縣鯉漁業ノ振興ニ資セントスルニ前年度以來ノ繼續事業ナリ

(ロ)

方法 試験船圖南丸(一〇八噸二二〇馬力)ニヨリ自西曆至十一月ノ期間三十五名(八日迄)

(ハ)

乃至十五名(九月以降)ノ釣漁夫ヲ使用シ竿釣(角釣及餌釣)ニヨリ試験セリ

(ニ)

漁場 鹿兒島七島近海ヨリ本島先島列島近海ニ至ル海面

(ホ)

物資ノ積込及漁獲物ノ承揚 餌料 鹿兒島灣産脊黑鱈ヲ活込ミ氷油其他ノ必要物資ハ鹿兒島ニ

(ヘ)

テ積込ミ漁獲物ハ主トシテ枕崎ニテ販賣シ一部分本場節製造試験用トシテ那覇ニ水場セリ

(ニ)

經過並ニ成績ノ概要 三月七日鹿兒島港出帆十一月十三日枕崎港ニ歸着迄八ヶ月余(但五月中

(ハ)

一回本部營業船(餌料運搬)ノ爲又八月中入渠ノ爲休業セリ)ニ互リ鹿兒島一漁場一

(イ)

那覇一枕崎一鹿兒島巡環十五航海ヲ實施セリ

(ロ)

成績 試驗期間一九〇日航海數一五航海一航海平均一三日弱總水揚尾數二三、八一三尾(内

(ハ)

譯大判一三、七一一尾總數ノ五八%中判一、七九六尾總數ノ七%小判六、七二〇尾總

(イ)

數ノ二九%鮪仔一、五七二尾總數ノ六%總水揚高二〇、五四五圓一六錢一航海平均

(ロ)

水揚高一、三六九圓六八錢一日平均水揚高一〇八圓一三錢

(ト)

釣漁夫使用延人員七十六名一人一日常釣獲尾數三三尾釣獲金額二八圓六九錢
 海況カラ見テ漁況ノ概要 本年ハ昨年ニ比シ五月頃迄ハ水溫約一度方低ク從ツテ魚群北上遅ク
 此期ハ宮古島南東沖合ニ停滯セルモ六月ニ入り急昇シ却ツテ約〇、四度高クナリ魚
 群ハ本島ト宮古島ノ中間西大九ゾネニ急激ニ移動シ爾後昇温再ビ緩ヤカトナリシ爲
 コ、ニ比較的長キ漁期ヲ見セ九月頃稍々低目トナリシ爲十月ノ漁場ハ伊平屋島南西
 沖合伊平屋ゾネニ魚群停滯長キヲ見タリ

(チ)

漁獲ト水溫トノ關係

漁獲水溫	魚獲				計	%
	大	中	小	尾數		
二一度乃至二二度	一五	一	一	一	一五	〇、〇五%
二三度	六五	一六	二、〇〇〇	九二	二、一七三	八、五%
二四度	一	一	四八	一	四八	〇、二%
二五度	二四	一	六	一	二四七	〇、九五%
二六度	二、三二六	二六	一、五二五	一〇〇	三、九七七	一五、六%
二七度	三、七七一	一〇	二〇四	四三三	四、四一八	一七、三%
二八度	七三一	四六一	一五〇	一	一、三四二	五、三%
二九度	二、〇三六	一、二五九	一、九八七	九四八	六、二七〇	二四、五%
三〇度	六、二五	一	七六九	四二	七、〇六一	二七、六%

(リ) 月別一航海平均漁獲

月 日	平均				計 量	%
	大 判	中 判	小 判	箱		
三 月	六三三	!	二〇四八	九二	二、一四〇	一六、三%
四 月	一、八四九	!	七七四	!	一、四一四	一〇、八%
五 月	一、三一七	!	三〇	!	一、八八三	一四、三%
六 月	一、七三九	!	一〇〇	!	一、七三八	一三、二%
七 月	七五九	一八四	二八五	!	二、〇二四	一五、四%
八 月	!	四七六	七九〇	一四九	一、八八二	一四、三%
九 月	二一七	九五	二〇〇	四二	七一一	五、五%
十 月	四二八	二六	一二七	三四八	七八七	六、〇%
十 一 月			!	一〇〇	五五四	四、二%

二、鮪延繩漁業試験

(イ) 趣 旨 縣下鮪延繩漁船ノ漁場擴張ヲ圖ルト共ニ鯉漁船ノ漁閉期利用ニ資セントスル前年度以來ノ繼續事業ナリ。

(ロ) 方 法 試験船圖南丸ニ船長以下二十五名乗組ミ十二月ヨリ三月ニ至ル期間延繩一〇〇鉢

(ハ) 漁 場 支那事變ノ爲南洋出漁豫定ヲ變更シ十二月、一月ハ本島ノ南東約五百浬ニアル沖島島